平成 19 年 12 月 21 日

井草中コミュニティスクールがスタート

平成 19 年度から井草中学校はコミュニティスクール（地域運営学校：通称ＣＳ）として、指定されました。

ＣＳとは地域住民や保護者などが、合議制の機関である学校運営協議会を通じて、一定の権限を持って学校運営に参画し、教育委員会、校長と責任を分かち合いながら学校運営に携わることで、地域に開かれた、信頼される学校づくり、特色ある学校づくりを推進する新たな仕組みです。

このため学校運営協議会委員が任命された６月以降毎月１回の運営協議会を開催しています。井草中学校の学校運営協議会は、以下の２点を目標として活動を行うこととしました。

井草中コミュニティスクールの行動目標

① 地域の学校として井草の特徴を活かした、安心・安定した教育をめざす学校づくり
② 地域・家庭・学校の情報を共有し、地域づくりに貢献できる人材育成。

第１号では、学校運営協議会の委員をご紹介します。委員の任期は平成 19 年度～20 年度の２年間になりますので、よろしくお願いします。

学校運営委員会　会長　坂野　慎二

質問１.「経歴、お仕事など」
　玉川大学准教授
質問２.「井草中との関わりなど」
　平成 18 年度に学校評価で訪問したことがきっかけです。
質問３.「ひとこと」
　学校は、人の集まりです。子どものために、保護者、教職員、地域の人たち等が集まり、ともに考えて行動するための機会を与えてくれます。ちょっとした関わりでもよいのです。一緒に何かを始めてみましょう。

学校運営協議会の様子

地域運営学校（学校運営協議会）への思い

学校長　**寺田　節子**

「教育は学校で行うもの、余計な口出しはしてほしくない。またはしたくない」。「自分のプライバシーを守りたい。」「自分の子どもを育てるだけで精一杯。」「近所づきあいが面倒だ。」「地域の行事等があって、学校への支援はできない。」「自分の仕事をやりきることで余裕などない。」などの学校・保護者・地域・事業所（企業）のもっている意識を一度捨ててみることが今の子どもたちを健やかに育てるために大切だと私は思っています。

社会が成熟するにつれて、日本社会は学校・家庭・地域・事業所（企業）・行政等がそれぞれどんどん孤立していったのではないかと思っています。学校は子どもを集めて、専門家の教員のみが教育するところ。家庭は両親と子どもだけの最小単位になって教育をしているところ。地域は一部の人が町会役員になり地域貢献活動をしていて、近隣の人とのつながりが薄いところ。事業所（企業）は自分の発展が社会発展につながると企業活動のみをしているところ。行政は専門家の公務員がいるのだからとひたすら住民サービスを求められるところになってしまい、それぞれが孤立し、その機能を発揮するためにアップアップしているのではないかと常々思っていました。学校も家庭も地域も行政も企業もそれぞれ同じように専門家や担当者に任せると言われ、閉じざるをえなくなり、孤立化が進んだのではないでしょうか。みんな自分のところだけはしっかりやらねばと思い、自分のところの利益や充実だけを追い求めてきたのではないでしょうか。

「学校は地域とともに良き社会人、地域貢献できる人材を育てる」「家庭は地域活動に積極的になる」「地域は学校教育に関わり支援する」「企業は社員に学校支援活動や地域貢献活動を勧める」「行政はそれぞれの単位と連携して、良き地域社会づくりを支援する」など、それぞれの単位・組織の意識が変われば、子どもたちは様々な大人と出会い豊かな心をはぐくめるし、家庭も様々な人と出会い支援をもらえますし、地域も地域活動の人材を家庭から得ることができますし、企業も働く人々の意欲も高揚できるし、行政もスムーズに責務を果たせるようになるのではないでしょうか。

みんなでそんな社会を求めるために、自分の専門以外のところで、ちょっと活動する人がいっぱい生まれるといいなと思っています。

井草中探訪　～リレーエッセイ第１回　地域連携・研修委員会　（井草中の生き字引）吉野先生

私は、平成 9 年 4 月に井草中に赴任しました。今からもう 11 年も前のことです。その頃の井草中は、全校生徒約 530 名で 15 学級という、杉並の中でも生徒数の多い学校でした。緑豊かな敷地に伝統ある校舎（？）と広いグランドという環境の良さは今でも全く変わっていません。校舎と言えば、こんなことがありました。私が移動してきて 1 年目のことです。1 年Ｃ組の担任となりましたが、9 月頃に台風がやってきた時、4 階の 1Ｃの教室に雨漏りがありました。私を呼びに来た生徒と一緒に、4 階に駆け上がり教室に入ると、目が点になりました。何と、雨漏りが生徒の座席横の壁からしかも水道の蛇口をひねったかのような勢いで吹き出していました。たまたま弱くなっていた１Ｃの所から吹き出したそうです。そのすぐ後にバブル崩壊の影響か、井草中の改築計画も立ち消えになり、今に至っているようです。（当然、その修理はちゃんとされました。）その時は、本当にびっくりしましたが、今となっては楽しい思い出です。

つい最近、その当時の生徒たちと連絡をとる機会がありました、電話の向こうでは、入れ替わり立ち替わりに、「吉野先生、私、〇〇だけど、覚えてないよねー。」と、私は思い出したいけど、なかなか思い出せない状態。ところが話を続けていくうちに、「××大会の時、けがした〇〇だよ。」とか、「先生が家庭訪問に来るのに迷子になった△△だよ。」（あ～、そう言えば、あの頃はまだ、家庭訪問をやっていましたね。）とか、その瞬間に、そのときの場面や記憶がよみがえってきました。彼らも、もう 22・23 才の立派な社会人となっています。職場の同僚にいたっておかしくないわけです。本当に時のたつのは早いものです。

今でも井草中では、たくさんの生徒が日々頑張って生活しています。地域運営学校となり、10 年前にも増して、生徒たちにとって様々な活動が待っています。これからも、このような、生徒との素敵な思い出を積み重ねながら、井草中とともに頑張っていきたいと思っています。多くの卒業生に感謝！

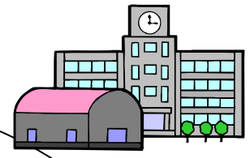
ＣＳ学校運営協議会日程　12 月 21 日 13 時 30 分～／1 月 23 日 9 時半～
／2 月 27 日 17 時半～／3 月 25 日 16 時～　於プレイルーム
☆どなたでも傍聴いただけます。（一部内容により非公開）

井草中ＣＳ

井草魂

学校運営協議会委員紹介

（質問１.「経歴、お仕事など」２.「井草中との関わりなど」３.「ひとこと」）



会長職務代行　熊野　隆喜

1．元大成建設・大成ユーレックの役員。東京城西ロータリークラブの 2006～07 年度会長
2．東京城西ロータリークラブは 2003 年、5 年前から杉並区の小・中学生の「職業のこと」等に関してお手伝いをしてきた。杉並区立井草中学校は最も熱心な取り組みをしてきている。
3．心身ともに健全な生徒を育てようとしている杉並区立井草中学校、そして寺田校長はすばらしい。できるだけのお手伝いをしたいと思います。

小美野　公治

1．出身地・上杉謙信が活躍した新潟県。東洋大学経済学部卒
　オートガスの販売に勤務・・「原油の高騰で頭が痛い現状です」
2．子供３人井草中学校で学びました。２人の子供で、ＰＴＡ会長を通算２年間勤めさせていただき、50 周年記念行事の仕事をさせて頂きました。
3．公立学校は、地域の力で育って行くと思います。学校が、私たち地域の者にとって「身近に感じられる学校」であるかは大きな要素です。子供が通学している学校が「よその人に誇れるもの」であってほしいと思っています。そんな学校づくりができる地域運営学校に期待しています。

中澤　渉

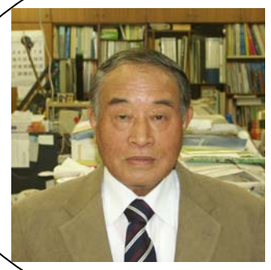
1　東京大学社会科学研究所助教。専門は社会学で、主として社会階層、教育改革を対象として、統計的な分析を行っています。
2　昨年度の第三者学校評価に関わって以来のことになります。
3　私のもつ専門の立場から、微力ながら貢献できれば、と考えております。よろしくお願いいたします。

江畑　洋子

1.　日常は仕事と主婦を半々にこなしています。
2.　平成 14 年度にＰＴＡ副会長をしました。現在はＩＳＳの副委員長と、ほっとスペースのお手伝いをしています。
3.　子育ても一段落し、自由な時間を楽しんでいます。３人の子供たちが育った、この井草の地には思い出が一杯です。

石黒　康

1.　高校の教員です。
2.　４年前におやじの会の立ち上げに関わり、ＩＳＳの講師と、今年度はＰＴＡ会長を務めています。
3.　親と地域と先生方の信頼関係の中で、子どもたちが安心して力を伸ばして行けるようなコミュニティ･スクールをめざしたいと思います。



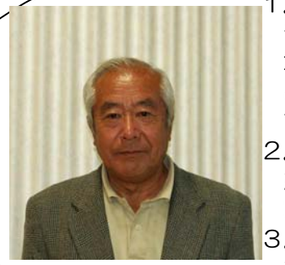
鈴木　定雄

1．㈱鈴木組（建設、不動産）を平成 17 年に第一線を退いて取締役会長として応援しております。商店会連合会副会長として区内商業振興に取り組んでいます。
2．昭和 58、59 年にＰＴＡ会長としてお世話になりました。また町会、商店街の関係でいろいろと行事等に伺っています。
3．難しい年頃の子供たちの教育は学校と家庭が密接な連携を取っていくことは一番大事なことではありますが、子供たちの教育環境をより良い物にするためには、地域全体の協力が不可欠だと考えています。落ち着いた学校生活が送れるよう、委員の皆さんと支援していきます。

学校長　寺田　節子

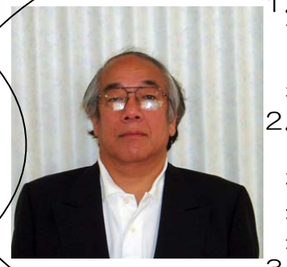
小口　和子

1．特定非営利活動法人「子ども文化ＮＰＯ　Ｍ・Ａ・Ｔ」代表理事、杉並区ＮＰＯ等協働推進委員など、自主活動を通して社会と関わっております。
2．２年前に井草“ホッと”すペーすの拠点リーダーを引き受けてから、地域の大人としてのお付き合いがはじまりました。（ちなみに主人と子どもが井草中学校出身です。）
3．ＣＳの委員として地域に住んでいる私にできることは・・・現在の井草中学校の正しい情報を、伝えることができればと思っております。



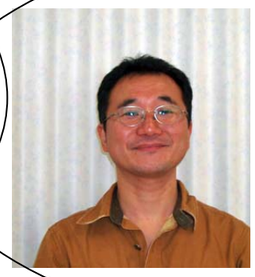
野田　敏夫

1．井草中の６回の卒業生です。仕事はテニスクラブの経営をしています。地域では上井草青少年育成委員会の会長として青少年育成支援に関わっています。
2．昭和 61,62 年にＰＴＡ会長をしました。現在は井草中同窓会の会長をしています。
3．地域と学校との関りを深めて、子供たちの教育により良い環境を作ってあげたいと思います。



古谷　充廣

1．井草中卒業 14 回生です。酒屋を営んでいます。地域では新町自治会の副会長をしています。また少年補導員として少年非行の防止に取り組んでいます。
2．平成 11、12、14 年度と３期に亘りＰＴＡ会長を務めました。14 年度には杉並区立中学校ＰＴＡ連合協議会の会長もしました。現在はＩＳＳの実行委員長として子供たちと関っています。
3．子供たちの健やかな成長のために、今度は運営協議会委員として精一杯努力していきたいと思います。



辻田　浩和

1.　平日は会社員で技術系の仕事をしています。西荻区民センターの運営協議会に井草中 PTA 派遣で行っています。
2.　２年前にPTA 会長をしてからのお付き合いです。現在は学校支援本部の代表と、ISS の講師をしています。
3.　教職員の方と助け合い、誰でもが居心地のいい学校を目指したいと思います。